

平成21年3月27日

南海電気鉄道株式会社

～南海電鉄・高野線の“展望デッキ付き列車”で世界遺産・高野山へ～

観光列車「^{てんくう}天空」プレ運行を実施

日時：4月29日(水・祝)～6月20日(土)まで全7日28本

南海電気鉄道(本社：大阪府中央区、社長：亘 信二)では、世界遺産・高野山へと向かう高野線の橋本～極楽橋駅間(和歌山県)で運行する展望デッキ付き観光列車「天空」について、プレ運行(要予約・有料)を4月29日(水・祝)など全7日限定で実施します。今回の特別運行は、7月3日(金)からの定期運行に先駆けて行うもので、いち早く新車両にご乗車いただけます。

「天空」は、高野山へと向かう旅の道中としての魅力アップを目指す「こうや花鉄道」プロジェクトの一環として登場する、展望デッキ付き観光列車です。木の温かみを感じるデザインで、車窓から紀の川や不動谷川の風景を見渡せる座席配置や、森林の外気が吹き抜ける「展望デッキ」などを導入。弘法大師空海の開いた聖地・高野山への道中を楽しんでいただけます。

愛称の「天空」は“俗世間から精神世界へと「Change of mode」できる乗り物”というコンセプトに合う名称として一般公募3,637件の中から選ばれました。

プレ運行の詳細は次ページのとおりです。

天空



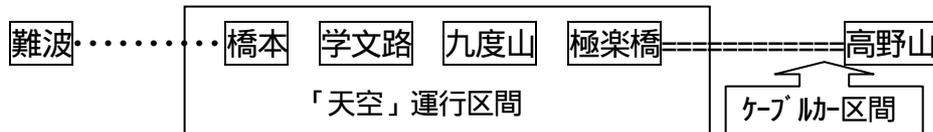
「天空」走行イメージ

【1】観光列車「天空」プレ運行について

「天空」に乗りいただくためには予約が必要です。

1. 運行区間

高野線・橋本～極楽橋駅間（19.8km）



2. 運転日時

4月29日（水・祝）、5月6日（水・休）、6月6日（土）、6月7日（日）、
6月13日（土）、6月14日（日）、6月20日（土）の全7回
4/29、5/6は学文路・九度山駅に停車しません。

< 橋本 極楽橋 >

列車名	橋本発	学文路発	九度山発	極楽橋着	ケーブルカー 乗り換え	高野山着
天空1号	10:34	10:41	10:44	11:10		11:21
天空3号	13:22	13:30	13:33	14:04		14:16

< 極楽橋 橋本 >

高野山発	ケーブルカー 乗車	列車名	極楽橋発	九度山発	学文路発	橋本着
11:48		天空2号	12:04	12:32	12:35	12:43
14:48		天空4号	14:58	15:32	15:35	15:42

3. 座席指定料金

大人500円、小児250円（運賃は含みません）

4. 予約方法

乗車希望日の10日前から前日まで「天空予約センター」で電話予約を受け付けます。
予約の際、乗車希望日と列車、氏名、予約人数（4名様まで）、電話番号などをお伺いします。
予約後のキャンセルはご遠慮ください。

天空予約センター営業時間（プレ運行実施期間中）

	開設日	営業時間	電話番号
天空予約センター	4月13日(月)	9:00～17:00	06-6644-7503

5. 座席指定券の引渡し場所と時間

乗車駅	指定券の引渡し場所	引渡し時間
橋本	南海・橋本駅ホーム(待合室付近)	橋本駅発車時刻の40分前～10分前
学文路	「天空」車内	ご乗車時
九度山	「天空」車内	ご乗車時
高野山 (極楽橋)	高野山駅窓口 極楽橋駅では引渡しできません	高野山駅ケーブル発車時刻の 40分前～10分前

6. 記念乗車証プレゼント

プレ運行期間中にご乗車いただいたお客さまにもれなく「天空」の記念乗車証を差し上げます。

【2】観光列車「天空」について(ご参考)

1. 運行区間

高野線・橋本～極楽橋駅間(19.8km)

2. 観光車両

2両1編成(一般車両2両と連結して4両で運行)

3. 指定座席数

2両合計76席(高野山側から37席+39席)

4. 定期運行開始日

平成21年7月3日(金)

定期運行に関する詳細は平成21年5月中旬に別途発表予定です。

5. お客さまのお問い合わせ先

南海テレホンセンター TEL.06-6643-1005(8時30分～18時30分)

以上

観光列車「天空」の車内イメージ



ワンビュー座席



4人掛けコンパートメント



展望デッキ



先頭展望席

世界遺産・高野山について

高野山は今から約1200年前、弘法大師空海によって真言密教の道場として開山されました。古来より修行の地として多くの人々が訪れた高野山とその参詣道は、平成16年(2004)7月に世界遺産に登録されています。

標高約900mに位置する高野山では、平地より気温が低いいため桜も例年4月下旬に見ごろを迎えます。高野山へ向かう途中、車窓からの風景もぜひ楽しんでください。

高野山には、現在52カ所ある宿坊寺院に宿泊することができます。宿坊寺院では、野菜中心の精進料理や写経、“阿字観(あじかん)”と呼ばれる瞑想などの修行体験ができるところも多数あります。

